



自分の花を咲かせよう

第7号

加茂谷中学校通信

R7.10.30発行

見つけよう 相手のキラツとするところ



今年も加中学生は、「見つけよう 相手のキラツとするところ」をはじめ、たくさんの人権標語を考えました。そして、標語を読んでもらった多くの保護者のみなさんが感想を寄せてくださいました。(一部抜粋)

相手の嫌なところではなく、素敵に輝いているところを見つけたら、相手のことをもっと好きになれるし、自分も頑張ろうと前向きな気持ちになれます。

苦手だな、と思う人がいるとき、相手の嫌な部分にフォーカスがかかると、嫌だなという感情しかわいてこないけれど、苦手だな、と感じる人に対して「よいところを探そう」と視点を変えると自分自身の気分もよくなるし、「この人もよいところあるじゃん」と思えて、お互いの関係性もよくなります。

表面的なキラツとするところだけでなく、お互いをもっと知ると、もっともっとキラツとするところが見つかると思います。お互いにそれを相手に伝えられたら、キラツとするところが更にキラキラになると思います。

10月25日(土)、「咲き誇れ みんなの個性! 舞い上げれ 加中祭!」をテーマにした加中祭が行われました。会場となった体育館には、一人一人が考えた研究物や、絵画ポスター、書道等、努力の成果が表れた作品が展示され、一つ一つがキラツと輝いていました。作品製作中どんなことを考えていたのだろう? どれだけの時間がかかったのだろう? どこに一番集中したのだろう? 等いろいろなことを考えながら作品を見ていると、一人一人のキラツと輝く違った個性が感じられました。

また、ステージにおいては各学年、有志メンバー、生徒会による表現がありました。一つ一つアイデア満載のプログラムであり、堂々と表現する姿には、みんなの個性が咲き誇っていました。

そして、全校合唱、迫力あるボディーパーカッションと一人一人の心が合わさり美しいハーモニーとなった「ハートのアンテナ(合唱曲)」には心が揺さぶられました。この全校合唱は、阿南市中学校音楽祭で

も、全校生徒で披露する予定です。夢ホールステージに立つ加中学生の姿をぜひ見に来てください。♪



11月11日(火) 阿南市中学校音楽祭
(阿南市文化会館 夢ホール)

加茂谷中学校出演

10:30頃



生徒会本部

具体的な取り組み

笑顔で明るく
歌う。

目標

音楽祭に
向けてがんばる。

交通安全

日の出から日の入りまでが短くなり、この前まで暑かったのに、登校時に寒さを感じる日も出てきました。横断歩道では、一時停止してくれる自動車が増えています。道路はみんなのものです。歩行者も、自転車も、自動車もゆずり合って交通安全を心がけましょう。



小中高生52%「読書しない」 ベネッセ調査（10月26日徳島新聞より）

私は、日曜日の日課として、新聞に掲載されているパズルをやってみよう面の「7つの間違い探し」で頭の体操を行ってから、新聞の読書面（書評欄）を読んでいます。

新聞の書評欄とは、毎週日曜日に掲載される紙面で、主に新刊本を紹介しています。書評には、本の重要なポイントがわかりやすく書かれていて、短い時間で読めるのがよく、本を通読したような気にさせてくれます。10月26日の読書面では、早見和真著『問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい』（朝日新聞出版）という長いタイトルの本が気になりました。今度、本屋に行ったときに探してみるつもりです。

さて、書評を読み終わり、新聞紙面をめくっていると、『小中高生52%「読書しない」』という見出しが目飛び込んできました。**あなたは、本を読んでいますか？**

ベネッセコーポレーションが2024年に小中高生や保護者に尋ねたところ、読書をしない（0分）との回答が52.7%で、2015年調査時の34.3%から約1.5倍に増えたとのことです。一方スマートフォンの使用時間は延びており、スマホ使用時間が長いほど本を読む時間が短くなる傾向が見られたとのことです。1日のスマホの使用時間が0分の中学生の読書時間が21.7分だったのに比べ、3時間以上だと12.5分だったとのことです。また、様々な研究の結果、読書と学力は関連していることがわかっています。

加茂谷中学校の図書室には、毎年、たくさんの新しい本が寄贈され、最新刊が廊下にまであふれています。この恵まれた環境を活用しない手はありません。廊下を通るたびに、目についた表紙の本を手にとってみませんか。読書は、まだ見ぬ世界へ自分を連れ出してくれます。

